

## 横浜市立上菅田笹の丘小学校建替工事の遅延について

## 1 工期延期について

工事は約 7.5 か月遅延します。

	契約工期	新校舎登校開始時期
当初	令和 5 年 3 月 31 日	令和 5 年 4 月初旬 令和 5 年 4 月初旬
変更	令和 5 年 10 月 23 日	令和 6 年 1 月初旬

## 変更スケジュール（予定）

年度	R 3 年度				R 4 年度				R 5 年度			
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
建 替 工 事												

当初工程

変更工程

## 2 遅延の理由（建築局見解 別図 1・2 参照）

事前の地質調査では憂慮すべき特別な地層はなく、通常の杭施工として計画しましたが、一部の杭工事において、鉛直に地盤を掘削できず、正常に杭施工ができない状況が発生しました。

発生した場所は、旧校舎の残置杭及び解体工事で既存杭を撤去した場所に近接した部分です。

同様な状況の場所で杭工事を安全かつ正確に行うため、地盤改良、杭位置の変更、基礎形状の変更等を行うことが必要となり、これらに相当な時間を要しています。

原因として、中間に厚みの異なる硬質な砂礫層があることなどから、50年前の旧校舎建設当時の杭工事によって地層が乱されてしまったことや、さらに解体工事により地層が乱された可能性が考えられます。

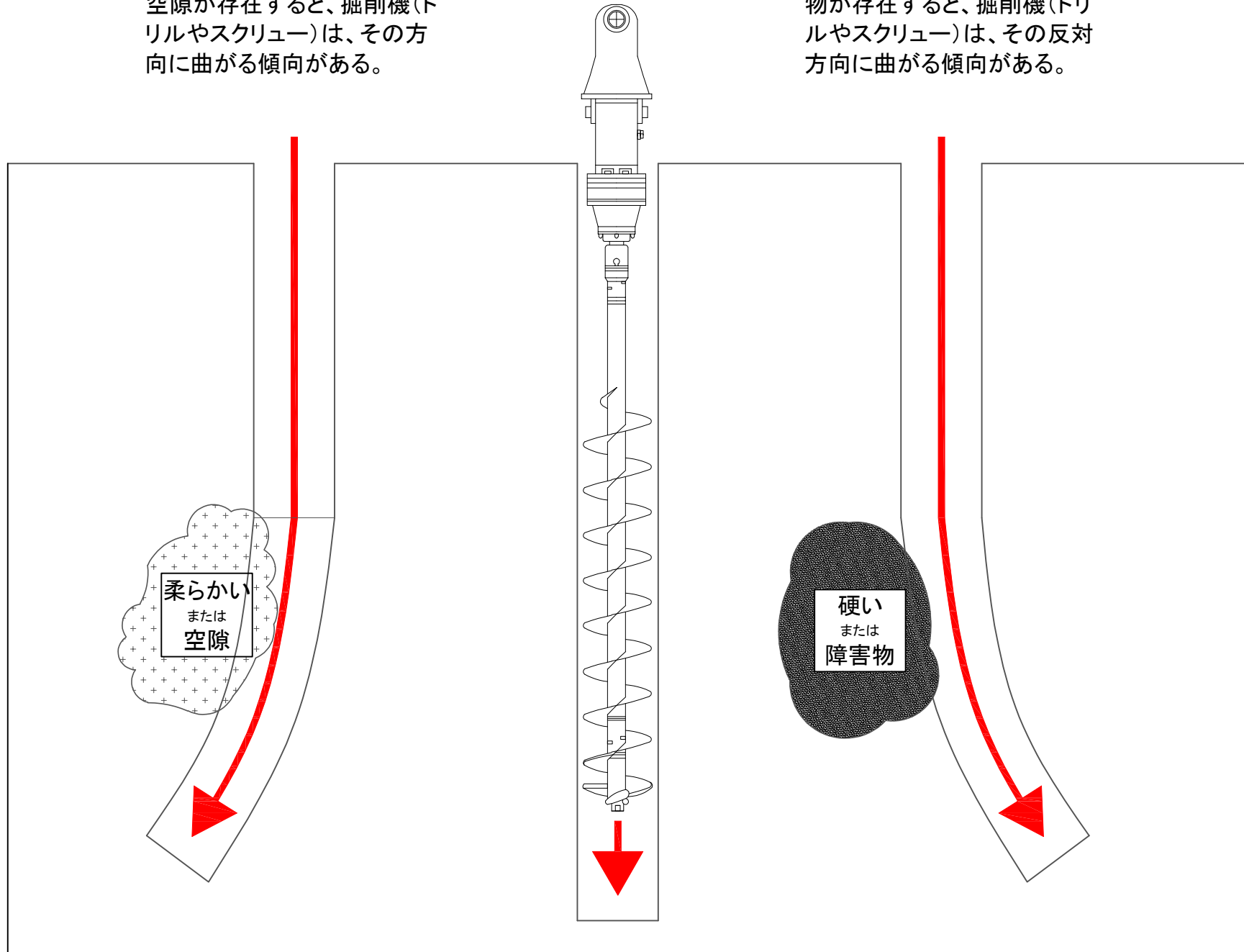
# 杭削孔時の曲がりについて

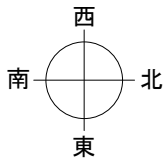
別図 1

地中に極端に柔らかい部分や空隙が存在すると、掘削機(ドリルやスクリー)は、その方向に曲がる傾向がある。

阻害要因がない場合

地中に極端に硬い部分や障害物が存在すると、掘削機(ドリルやスクリー)は、その反対方向に曲がる傾向がある。





# 地盤改良・杭芯及び基礎形状変更箇所



- 地盤改良 (直径800mm ~ 1500mm 長さ約 2.5 m) 及び杭芯・基礎形状変更等
- 地盤改良 (直径800mm ~ 1500mm 長さ約 2.5 m)
- 当初、杭打工事で鉛直に掘削できなかった箇所